

事務事業名		おひさまのエネルギー利用推進事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		環境モデル都市推進課	H28係等名	地球温暖化対策係	事業種別	政策	開始	23	終了
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
		施策	57	社会の低炭素化の推進					
目的	対象(誰・何を)	市民			指標名及び単位			27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	太陽光由来のエネルギーの利用を推進することで、域内エネルギー自給率を高めつつ、市域からのCO2排出量を削減する。			対象指標	飯田市の世帯数(世帯)		38512	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量				飯田市内の電灯契約使用電力量(千kWh):前年度数値		2408044	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)			2,671	3,498	2,576	2,576	
		温室効果ガス削減容量増加(トン/年)			1,793	2,014	1,824	1,824	
	成果指標	飯田市内の電灯契約使用電力量のうち、太陽エネルギー由来を5%にする(%)			4	5.17	5	5	
定性目標									
事業概要	おひさまのエネルギー推進事業								
	<p>1 地域に賦存する重要な自然エネルギー資源のひとつである太陽エネルギー(電気・熱)の利用を促進し、エネルギーの地産地消を推進。</p> <p>2 多様な主体の協働による取組みを具現化するため、地域で活動する民間事業者等との公民協働を育みながら、地域の財貨循環に繋がる形で太陽光発電事業を推進。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 一般家庭向け太陽エネルギー利用機器(太陽光発電・太陽熱温水器)設置への補助金事業(0円システム含む)				1 太陽エネルギー利用機器補助金交付		1 太陽光 250件(うち0円5件) 太陽熱 22件		
	2 メガソーラー発電設備の運営・維持管理				2 維持管理出動回数		2 17回		
	3 メガソーラーいいた補助金交付				3 補助金交付金額		3 3,325,370円		
	4 太陽光市民共同発電事業による余剰電力の売電				4 売電金額		4 4,979,352円		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		33,938	35,159	26,294	35,759	[27特定財源] (そ)諸収入 太陽光発電収入			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		4,605	4,700	4,979	4,600				
一般財源		29,333	30,459	21,315	31,159				
人件費計(千円)②		9,054		9,298					
正規職員所要時間		2,532		2,600					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		42,992	35,159	35,592	35,759				
事業内容・目標達成状況の振り返り		太陽光発電の普及事業を通じて、設置した市民や、様々な民間事業者との協働を実現することができ、CO2削減に効果があった。市民向け補助事業は、400件超えの目標を持って普及に努めたが、固定価格買取制度の下落もあり、結果的に250件に留まった。							
改革改善の考え方	①問題点	太陽光発電の普及は、固定価格買取制度、配電システムのあり方等と密接に関係がある。今後も固定価格買取制度の買取価格激減や電力会社の買取拒否に対する不安などから、太陽光発電の普及率が鈍る可能性がある。							
	②改革提案	補助制度の見直しを早期に行い、年度途中にも更なる告知に努める。また、今後は、地域振興に繋がることを目的として、住民主体の条例による地域公共再生可能エネルギー活用事業を進めることでの支援が出来るような新たな制度も含め検討する。							